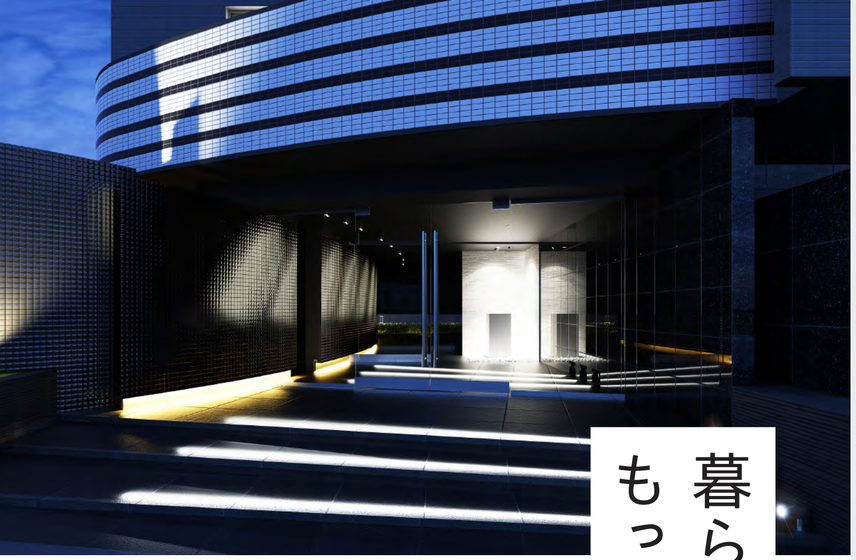


暮らしのそばに、もっとアートを

あなたならこの空間のために
どんな作品をつくりますか？

ＡＡＣは、マンションのエントランスに
常設展示するアート作品を募集する
学生限定の立体アートコンペです。
今年のお題は、この空間。
渋谷区初台に建設中のマンションの
共有エントランススペースです。
あなたならこの空間のために、
どんな作品をつくりますか？

ここに住まう人、
訪れる人にとってこの場所が
「アートと日常の出会いの場」となるように
今年も若い世代のアーティストの
才能を募集します。

一次審査通過者
制作補助20万円
実際に作品を
制作していただきます

最終審査
実際に設置
実際のマンションエントランスに
作品を設置し、
最終プレゼンをしていただきます

最優秀賞
賞金100万円※
常設展示
最優秀賞作品は、
マンションエントランスに
常設展示されます
※賞金総額/美術旅行費含む

AAC 2016——昨年の受賞作品

AAC 2016 最優秀賞
古川千夏「GEMME」
広島市立大学大学院
芸術学研究科 博士前期課程
造形芸術専攻 造形計画研究 金属造形研究室

公共の場にふさわしい、毎日見ても飽きない作品になるように気を付けました。
実際マンションの見学をして、スペースを見て人の動線をイメージしたり、壁の素材や色を見て、雰囲気がつかめたことは大事なことだったと思います。また、エントランスは、時間や天気によって光の当たり方や空気感が変わり、様々な人が様々な感情を持ってこの作品の前を通る場所であると思ったので、それを意識して制作しました。
AACは学生だけのコンペで制作補助金も出て、学生にとってはとても条件の良いコンペだと思うのでおすすめです。

AAC 2016 優秀賞
中尾俊祐「Corona」
和歌山大学
システム工学部
デザイン情報学科 4年

初めての制作だったので、作り方を考えることから、設置方法を検討するまで大変でした。
金属製作所の方にお手伝いしていただきながらの制作でしたが制作方法の決定、表面仕上げの選定等に1ヶ月ほどかかりました。
今回の制作で実際に作品を作るものづくりの難しさを改めて痛感しました。
このコンペは提案から制作まで同研究室の方、AAC事務局の方、金属製作所の方のサポートやアドバイスに支えられてここまで至りました。心から感謝いたします。

AAC 2016 優秀賞
堀田光彦「朝の輝き」
東京藝術大学大学院
美術研究科工芸専攻
鋳金研究分野 1年

毎日住居者の目に入るということを強く意識してプランニングし、作品がマンションのエントランスの空間とどのように関わり合うか常に想像しながら作りました。また、作品の重さや形など安全面にも気を使いました。
パブリックアートの安全面に気を使いすぎて作品がつまらないものになっては本末転倒だと思うのですが、やはり行き交う人の事は考えてしまいます。
公共空間に設置するという事を念頭に置く事が大切だと思います。1人でも多くの学生さんに応募して頂いて、このAACが実りのあるものになる事を願っています。

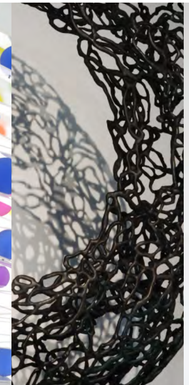
AAC2016 入選

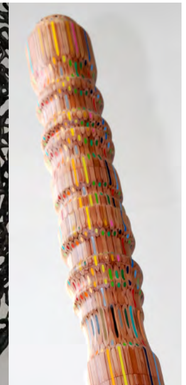
平田万葉「code:」京都市立芸術大学大学院陶磁器専攻
李小江「夏の月」東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻
洞山舞「moment」多摩美術大学美術学部彫刻専攻 4年
後藤宙「構造の表象」東京藝術大学大学院美術研究科先端藝術表現専攻
金俊来「Moon River」京都市立芸術大学大学院工芸学部漆工専攻
亀永百恵「Lamination」富山市立富山ガラス造形研究所造形科 2年
李旭「sonya」武蔵野美術大学大学院造形研究科 修士課程美術専攻彫刻コース 1年
三隅幸「Easy Art」筑波大学芸術専門学群構成専攻 3年
グループ名：Misumi/Iwane「暮らしのうつわ」
岩根美樹 筑波大学芸術専門学群構成専攻 3年
三隅幸 筑波大学芸術専門学群構成専攻 3年

AAC 2001–2015——過去の受賞作品

セラミック、ブロンズ、木、アクリル、さまざまな素材、技法を使った
作品が受賞しています。過去の受賞作品、AACの様子はこちらをご覧ください。

http://aac.urbanet.jp/





ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2017

AAC ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION

第17回 学生立体アートコンペティション

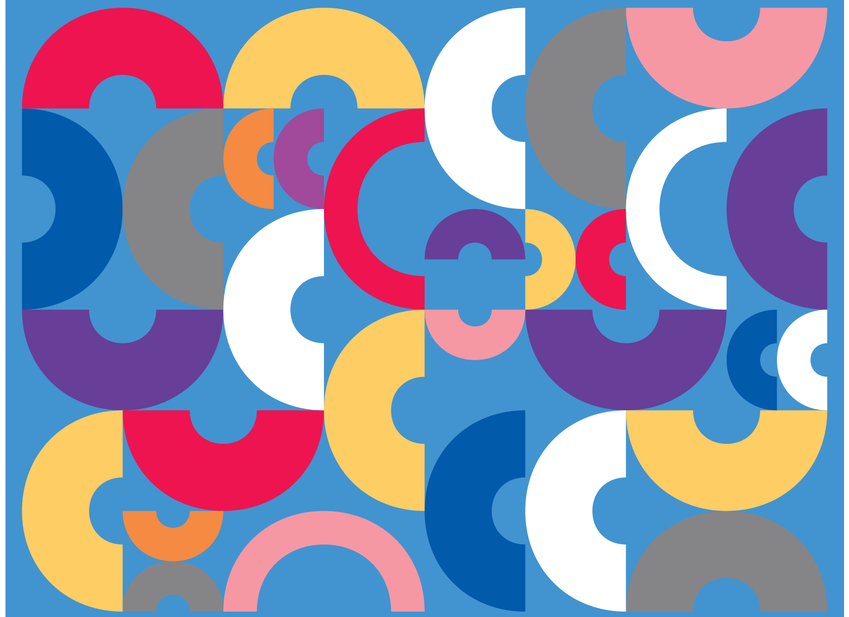
新築マンションの
エントランスを飾る
立体アート作品を
学生から募集しています

審査員長
堀 元彰
東京オペラシティアートギャラリー
チーフ・キュレーター

審査員
三沢 厚彦
彫刻家

小山 登美夫
小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
明治大学国際日本学部特任准教授

服部 信治
主催会社 代表取締役社長



募集内容
マンションの共用空間に
展示するための立体アート作品

最優秀賞賞金
100万円 美術旅行費含む

応募締切
6月15日（木）

http://aac.urbanet.jp/
主催　株式会社アーバネットコーポレーション

2001年から続く学生限定の立体アートコンペ

「値段が高く手が届かない」、「どこで購入していいのかわからない」、「手に入れても置く場所がない」。
　日本においてアート、特に立体作品が生活文化のなかに入り込めない背景には、こうした理由が存在しています。弊社はそんな状況の改善に一役買うことができればと、これまで自社開発したマンションの共用スペースに、彫刻や絵画などの芸術作品を展示することで建築空間を豊かにし、アートと日常生活の出会い、そしてアートと建築の出会いをプロデュースしてきました。

「ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION」（AAC）は、そうした取り組みの一環として2001年より始まった学生限定の立体アートコンペです。AACの特徴は、最優秀作品を買い上げ、マンションの共有空間に常設展示するという点です。日本にはこうしたシステムの学生限定のコンペが無かったこともあり、AACは各方面から高い評価をいただいています。また、認知度も年々向上しております。

「アートのあるライフスタイル」の実現とともに、若手芸術家の発掘、支援、育成を目的としている当コンペでは、多くの学生の方々のご応募をお待ちしています。

株式会社アーバネットコーポレーション

ART MEETS
ARCHITECTURE
COMPETITION
2017 AAC

審査員長

堀元彰
Motoaki HORI
東京オペラシティアートギャラリー
チーフ・キュレーター

1961年、神奈川県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科美術史専攻課程修了。
神奈川県立近代美術館学芸員を経て現職。
2008年「蝋川実花展」、2011年「感じる服 考える服：東京ファッションの現在形」、2014年「絵画の在りか」、2016年「ライアン・マッギンレー BODY LOUD!」などを担当。
著作に『日本の近代美術 11 近代の彫刻』（1994年）、『カラー版 20 世紀の美術』（2000年、いずれも共著）など。「損保ジャパン美術財団選抜奨励展」「FACE展」などで審査員をつとめる。

審査員

三沢厚彦
Atsuhiko MISAWA
彫刻家

1961年、京都府生まれ。
1989年、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻 修了。
2000年、動物の姿を等身大で彫った木彫「Animals」を制作開始。
同年より西村画廊（東京）で個展開催。2001年、第20回平櫛田中賞受賞。
2007-08年、平塚市美術館など全国5館で巡回展開催。
以後、各地の美術館で個展を多数開催。近著に2013年の作品集「ANIMALS No. 3」（求龍堂）、「動物の絵」（青幻舎）。神奈川県在住。

小山登美夫
Tomio KOYAMA
小山登美夫ギャラリー株式会社
代表取締役社長
明治大学国際日本学部特任准教授

1963年東京都生まれ。1987年東京芸術大学芸術学科卒業。
1996年に小山登美夫ギャラリーをオープン。
国内外のアーティストを展示。
海外のアートフェアへも積極的に参加し、日本のアーティストを世界に紹介。
一方、国内でのアートマーケットの充実と拡大を模索する。

服部信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役社長

1950年福岡県生まれ。一級建築士。
大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年に設計事務所として株式会社アーバネットコーポレーションを設立し、多くの分譲用ファミリーマンションの設計等を手掛ける。
その後、自社で土地を取得し、投資用ワンルームマンションを中心とした独自性のある開発事業を展開し、2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。設計士でありながら不動産開発会社を起こし上場させたという異色の経歴を持つ。
一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思うようになったことをきっかけに、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

特別協賛　株式会社アセットリード、伊藤忠都市開発株式会社、株式会社共同設計事務所、株式会社クロスファクトリー、株式会社合田工務店 東京本店、株式会社陣設計、多田建設株式会社、株式会社PIM、ホクシン設備株式会社、株式会社メイクス、株式会社 明和〈50音順〉

協賛　株式会社IAO竹田設計、伊藤忠商事株式会社、イトーピアホーム株式会社、NECネクサソリューションズ株式会社、株式会社エルプラス、株式会社ガイアフィールド、有限会社キューオーエルクリエイション一級建築士事務所、協立機電工業株式会社、株式会社後藤組、坂田建設株式会社、株式会社GSコーポレーション、株式会社シーフィブ、株式会社シーラ、株式会社週刊住宅新聞社、株式会社住宅新報社、新三平建設株式会社、株式会社第一ヒューテック、タカラスタンダード株式会社、株式会社田中電気工業所、株式会社東輝、東京カレント株式会社、株式会社都市建コーポレーション、株式会社ニシヤマ建築デザイン、日ポリ化工株式会社、株式会社不動産経済研究所、株式会社フルブリッジ、モーニングスター株式会社、株式会社ワークス〈50音順〉

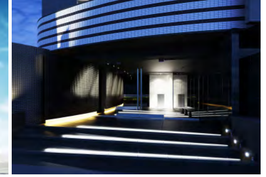
賛助　株式会社アクロス、株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所、イデア株式会社、株式会社エル設計事務所、株式会社核建築設計事務所、桂興産株式会社、株式会社ギャパン、株式会社協同エージェンシー、株式会社グローブ建築設計、株式会社国際技術コンサルタンツ、株式会社コルビジス、株式会社設計工房イー・ディー、株式会社地域環境開発、ナチュラルデザイン、株式会社ファーストクリエイト、株式会社椰学アーキテクツ、株式会社吉田正志建築設計室、ラン株式会社〈50音順〉

主催　株式会社アーバネットコーポレーション

設置マンション概要

2017年9月完成予定

建物名称：「（仮）初台Ⅱプロジェクト」
建設地：東京都渋谷区初台
建物用途：共同住宅（1R・1LDK）
住居者層：20–30代の単身者等
構造規模：鉄筋コンクリート造地上6階
戸数：31戸



外観イメージ

エントランスホール図面

展示スペース

［壁付け］
A面：約 幅1,400×高さ2,300×奥行き300以内
B面：約 幅1,400×高さ2,300×奥行き300以内
※ A+B　2面の使用も可能

［台座置き・床置き］
約 幅1,400×高さ2,300×奥行き1,400以内

台座サイズ

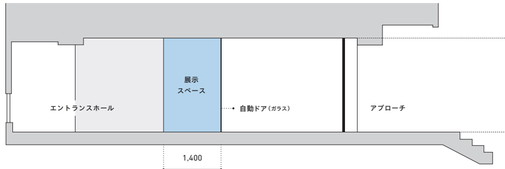
自由

- イメージ図は幅450×高さ900×奥行き450
- 最終審査で使用する仮の台座については、一次審査後の打ち合わせで確定

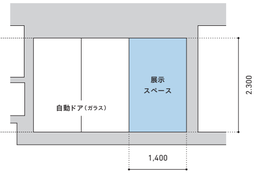
照明

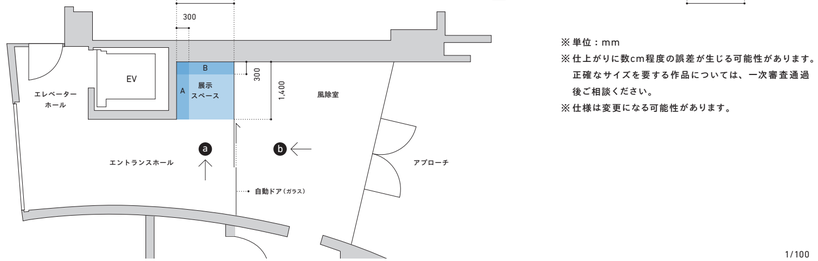
展示スペース上部の天井に設置予定
（最優秀賞決定後、打合せのうえ決定）

ⓐ 展示スペース側面



ⓑ 展示スペース正面





※単位：mm
※仕上がりに数cm程度の誤差が生じる可能性があります。
　正確なサイズを要する作品については、一次審査通過後ご相談ください。
※仕様は変更になる可能性があります。

1/100

ⓑ エントランスイメージ

エントランスイメージ：台座あり

応募要項

募集内容	マンションのエントランスホールに展示する立体アート
条件	1. 未発表のオリジナル作品 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全であること 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	当社が開発中のマンション「（仮称）初台Ⅱプロジェクト」のエントランスホール（東京都渋谷区）
素材	石・鉄・FRP等、長期展示に耐えうる材質
展示スペース	約 幅1,400×奥行き1,400×高さ2,300 mm ※エントランスホール図面参照
重量	100kg以下（壁付け・台座置き共通）
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校等で美術・芸術・デザインを学んでいる18歳以上の学生（研究生含む）のグループ、または個人
応募点数	複数応募可 ※ただし、未発表のものに限る
応募手数料	無料
賞	最優秀賞1点…賞金総額100万円（美術旅行費含む） 作品は作者名（グループ名）の入ったプレートと共にマンションに常設展示 優秀賞：2点以上…賞金20万円 入選：数点……賞金5万円
補助金	一次審査を通過した入賞作品（3点以上）には、制作補助金として20万円 ＋ 搬入出費を支給 ※遠方者の交通費・宿泊費も別途支給

提出物送付先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-2-5
トライエッジ御茶ノ水 13F
株式会社アーバネットコーポレーション AAC事務局 宛

その他

- 内容は、変更になる場合があります。応募の前に必ず公式サイトトップページの「お知らせ」をご確認ください。
- 応募作品は本コンペのために新しく制作する未発表のオリジナル作品に限ります。
- 一次審査の応募資料は返却いたしません。
- 各賞金は一作品ごとの授与とします。グループ応募の際はご注意ください。
- 応募作品、提出資料の一部あるいは全部が、第三者の著作権等を侵害する恐れがある場合、主催者の判断により入賞を取り消すことがあります。
- 入賞作品の著作権および所有権は、作品の所有権移転時に主催者に帰属します。
- 入賞者の責任で出品が不可能になった場合、あるいは実物作品が一次審査と著しく異なる場合には、入賞賞金ならびに補助金を返還していただく可能性があります。
- 主催者は、最終審査会での提出作品の保管に関して注意義務を負いますが、作品の素材または構造上の欠陥による損傷、その他不可抗力による損害について責任を負いかねます。
- 各審査および表彰式の模様を公式サイト並びにニュースリリースで公表いたします。
  最優秀賞、優秀賞、入選の作品に関しては、主催者の広・広告等に使用する場合があります。
  その際、作品・氏名・学校名・受賞者の写真等が掲載される場合がございます。
  個人情報保護方針に関しては、公式サイトの「個人情報の取扱いについて」をご覧ください。
- 入賞者が未成年の場合は、受賞に際して親権者の同意が必要となる場合があります。
- 入賞者が、反社会勢力の活動を助長する行為をしたことが判明した場合、審査の対象外となります。受賞発表後に判明した場合であっても、受賞は取り消されます。

お問い合わせ

株式会社アーバネットコーポレーション AAC事務局
tel. 03-6630-3051
e-mail. aac.compe@urbanet.co.jp

http://aac.urbanet.jp/

スケジュール

- 4月中旬 事前登録開始

［応募の手順］

1. 応募の準備：公式サイトのAAC 2017ページ「事前登録フォーム」から登録
※登録は、1作品につき各1回ずつ必要

2. 応募用紙Ⓐ Ⓑ Ⓒの準備・応募
※ すべて縦A4サイズの紙に出力してください。1作品につき各1枚ずつ必要。
※ プロフィールを伏せて審査を行うため、AとBには名前・学校名を記載しないこと。
※ 応募用紙は公式サイトからダウンロードしてください

応募用紙Ⓐ
スケッチ、マケット写真、制作方法 等

応募用紙Ⓑ
過去の自分の作品

応募用紙Ⓒ
プロフィール等、必要事項を記載

- 6月15日（木）募集締切

2017年6月15日（木）必着
※ 締切当日13:00–17:00のみ送付先への持参可

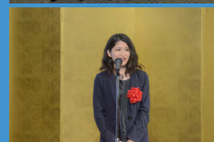
- 7月3日（月）一次審査（予定）

- 最終審査に進む3名（またはグループ）と入選数名（またはグループ）を選出
- 審査当日、公式サイトにて結果発表
- 受賞者へは改めて事務局より連絡
- 補助金２０万円支給（作品材料費、梱包費）搬入出費・遠方者の宿泊費等は別途相談の上、全額支給

※ 応募用紙A、Bをもとに書類審査
※ 作品の大きさ、仕様、運搬方法等についての打ち合わせを行った上で、実材での作品制作に入って頂きます。（7月中～下旬予定）

- 7月中旬～10月 製作期間

- 10月23日（月）最終審査（予定）
同日 表彰式・懇親会

最終審査 「（仮称）初台Ⅱプロジェクト」のマンションに作品を持参していただき、その場に仮設置をした上で審査。

※ 入選受賞者は表彰式、懇親会へご招待いたします。
（交通費全額支給）